

## 第2回 綾部市地域公共交通活性化協議会

### 次 第

日 時 令和4年8月8日（月）

13時30分～

場 所 I・Tビル 2階 多目的ホール

1 開 会

2 開会あいさつ

3 議 事

第1号議案 安全性確保が必要なバス停の移設について

第2号議案 □上林地域での交通空白地有償運送の取組について

4 報告事項

綾部市地域公共交通計画について

5 閉 会

## 綾部市地域公共交通活性化協議会委員名簿

(敬称略)

	所属	職名	氏名	備考
1	綾部市	市長	山崎善也	
2	綾部市自治会連合会	会長	高倉正明	
3	綾部市老人クラブ連合会	会長	田中丈夫	
4	綾部市身体障害者協会	会長	斎藤信吾	
5	綾女ねっと	会長	泉朝子	
6	日本交通株式会社	取締役兼福知山・綾部営業所長 京都北部地域担当	川本康博	
7	株式会社関西丸和ロジスティクス	運行システム事業本部長	竹本浩二	代理出席 京都事業部 綾部事業所長 吉村弘志
8	日本交通労働組合綾部支部	支部長	寺澤正人	
9	西日本旅客鉄道株式会社 福知山支社	総務企画課長	石原純	代理出席 総務企画課 課長代理 岡田勝
10	特定非営利活動法人 あやべ福祉フロンティア	理事長	玉川弘信	代理出席 副理事長 若林豊
11	特定非営利活動法人於与岐みせん	理事長	上野司	
12	国土交通省近畿運輸局 京都運輸支局	首席運輸企画専門官 (企画調整)	稲留健一郎	
13	国土交通省近畿地方整備局 福知山河川国道事務所	所長	犬丸潤	代理出席 道路管理課長 大西孝幸
14	京都府中丹東土木事務所	所長	西村祥一	代理出席 企画調整課 課長 羽野晋章
15	京都府綾部警察署	署長	鶴見威之	代理出席 交通課長 高田紘嗣
16	京都大学大学院工学研究科	准教授	松中亮治	
17	綾部商工会議所	会頭	塩田展康	代理出席 専務理事 山崎栄市
18	綾部市社会福祉協議会	会長	朝倉正道	
19	一般社団法人 京都府北部地域連携都市圏振興社 綾部地域本部	地域本部長	平野正明	
20	あやべボランティア総合センター	運営委員長	前田道子	欠席
21	京都府中丹広域振興局	局長	高屋奈尾子	欠席
22	綾部市	市民環境部長	上原季司	

## 【事務局】

1	綾部市市民環境部市民協働課	課長	立藤 聡	
2	綾部市市民環境部市民協働課 市民活動推進担当	課長補佐	田中 恵美	
3	綾部市市民環境部市民協働課 市民活動推進担当	主事	横山 成之	



## 第1号議案

### 安全性確保が必要なバス停の移設について

#### 【小呂バス停】

##### 1. 協議内容

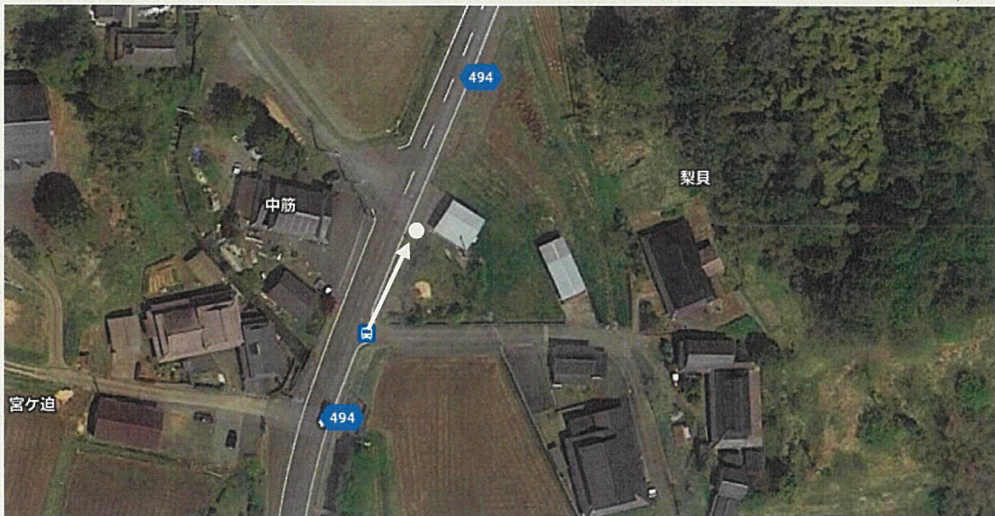
既存のバス停は、用水路が近く、乗降に不安があるとの声を受け、安全性を確保するため、バス停を北側に約20m移動する。

##### 2. 移設予定日

各種手続きが完了次第、速やかに移設します。(9月下旬)

##### 3. その他

バス停移設にあたってのダイヤの変更は伴わない。





## 【星原バス停】

### 1. 協議内容

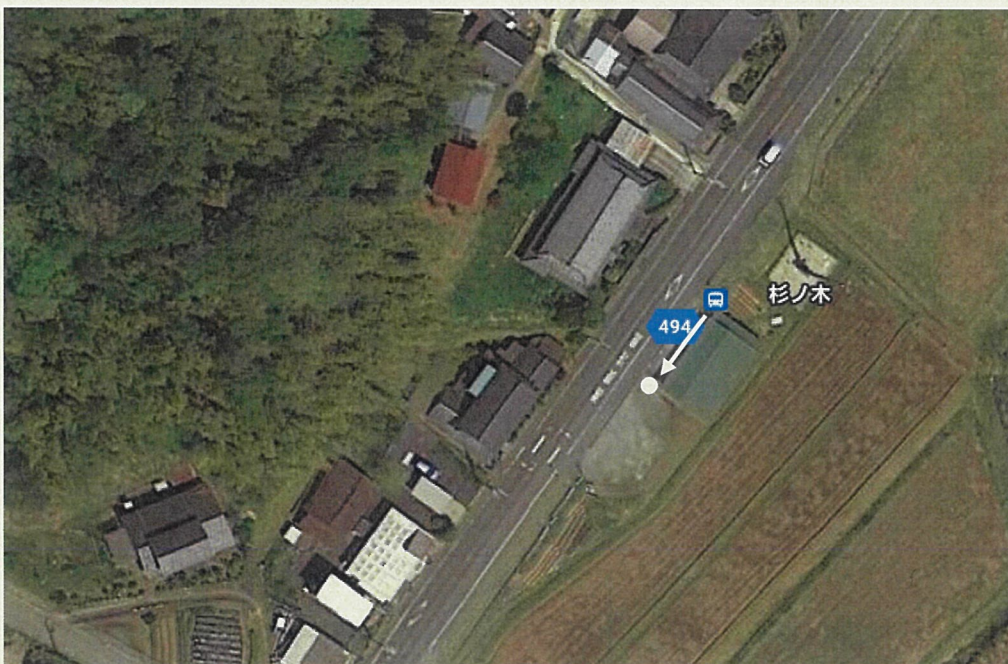
既存のバス停は、溝蓋のない道路側溝が近く、乗降に不安があるとの声を受け、安全性を確保するため、バス停を南側に約10m移動する。

### 2. 移設予定日

各種手続きが完了次第、速やかに移設します。(9月下旬)

### 3. その他

バス停移設にあたってのダイヤの変更は伴わない。





## 【七百石バス停ならびに大日バス停の移設について】

両バス停は、国土交通省から安全性確保対策を講じるよう指摘があったバス停であるが、移設先について、自治会と協議中。

### 【国土交通省から安全確保を講じるよう指摘されたバス停一覧】

番号	路線名	バス停留所名	所在地	道路名称	安全性確保が必要な理由	対応
1	上林線 於見市野瀬線	君尾山口 上り	綾部市睦寄町古井10の前	府道小浜綾部線	横断歩道より2m	移設済
2	上林線 於見市野瀬線	君尾山口 下り	綾部市睦寄町古井7 西側30m	府道小浜綾部線	横断歩道より2m	移設済
3	篠田桜が丘線	星原 上り	綾部市星原町杉の木7の前	府道綾部大江線	横断歩道にかかる	移設済
4	篠田桜が丘線	星原 下り	綾部市星原町杉の木7の前	府道綾部大江線	横断歩道にかかる	移設済
5	西八田線	岡安（西八田小学校前） 上り	綾部市岡安町田中11の前	市道淵垣上八田旧府道線	横断歩道より3m	移設済
6	西八田線	岡安（西八田小学校前） 下り	綾部市岡安町田中11の前	市道淵垣上八田旧府道線	横断歩道より3m	移設済
7	西坂線	西坂集荷場 上り	綾部市西坂町段ノ岡31の向側	府道綾部大江宮津線	横断歩道にかかる	移設済
8	上林線	東綾小・中学校前 上り	綾部市東山町山家58の前	府道小浜綾部線	横断歩道にかかる	移設済
9	上林線	東綾小・中学校前 下り	綾部市東山町山家59-1 北側10m	府道小浜綾部線	横断歩道より2m	移設済
10	西八田線	大日 上り	綾部市七百石町迫畑45の前	府道淵垣上八田線	横断歩道にかかる	調整中
11	西八田線	大日 下り	綾部市七百石町迫畑45の前	府道淵垣上八田線	横断歩道にかかる	調整中
12	西八田線	七百石 上り	綾部市七百石町大釜田	府道物部梅迫停車場線	横断歩道より2m	調整中
13	西八田線	七百石 下り	綾部市七百石町大釜田	府道物部梅迫停車場線	横断歩道より2m	調整中

### 【対象バス停】

- ①バスがバス停に停車した際、交差点又は横断歩道に車体がかかるバス停
- ②バスがバス停に停車した際、交差点又は横断歩道の前後5メートルの範囲に車体がかかるバス停



## 第2号議案

### 口上林地域での交通空白地有償運送の取組について

#### ◎取組概要

口上林地域のラストワンマイルを解消するため、自宅付近とあやバス上林線十倉バス停間をデマンド方式のドア to ドアで輸送する。

◎実施主体 口上林地区の交通と暮らしを守る会（任意団体）  
代表者 会長 井上信治  
所在地 綾部市武吉町中井根35番地  
（綾部市健康ファミリーセンター内）

◎対象世帯 約260世帯（口上林地区）

◎開始時期 令和4年10月スタート予定

#### ◎取組概要

運 行 日	毎週火曜日と木曜日（祝日は運休）
区域・路線	利用者自宅付近とあやバス十倉バス停間（口上林地域内）
時 間 帯	あやバスダイヤの8時台から17時台まで
旅客の範囲	地域住民及び関係者（一般旅客は対象外）
予 約	口上林地区自治会連合会事務所 ※利用予定日の2日前までに電話予約 ※予約受付時間 8時30分～17時
車 両	2台（車両は持ち込み）
運 転 手	2人（第一種運転免許保有＋自家用有償旅客運送の種類に応じた大臣認定講習の受講者）
料 金	片道100円（往復200円）／一人
運 行 管 理	責任者 井上信治
整 備 管 理	責任者 井上信治
事 故 対 応	責任者 井上信治
苦 情 処 理	責任者 井上信治



◎事業費 年間事業費 260,000 円

内 訳

収 入	運 賃	48,000 円 (100 円×往復×20 人) ×12 月
	補助金	182,000 円 (260,000 円×0.7)
	負担金	30,000 円 (自治会連合会負担金等)
	計	260,000 円

支 出	運行費	240,000 円 (1 往復 1,000 円×20 回) ×12 月
	事務所	20,000 円 (事務所の電話代、印刷経費等)
	計	260,000 円

※片道利用の場合の運転手報酬は、500 円

※夫婦 2 人での乗車や乗り合わせの場合でも、運転手報酬は人数で積算

◎参 考

実証実験結果

期 間	令和 3 年 1 1 月 1 日～1 2 月 2 9 日の水曜日と金曜日 (17 日間)
区 間	自宅付近からあやバス十倉バス停まで
利用者	7 人 (延べ人数)

◎別添資料

- (1) 口上林地区の交通と暮らしを守る会 規約
- (2) 口上林地区の交通と暮らしを守る会 組織図
- (3) 区域・路線図



公共交通を取り巻く状況

綾部市の交通等に関する状況

- ・ 少子高齢化等による公共交通の利用者数減少
- ・ コロナの影響や担い手不足等による交通事業者の経営存続危機
- ・ 自動車を運転できない高齢者増加、及び高齢者の外出機会（意欲）の低下
- ・ 自宅からバス停まで歩くことが困難な人の増加の懸念
- ・ カーボンニュートラルなどの環境分野の視点から、過度な自動車利用から公共交通利用への転換
- ・ 公共交通の充実に対する地域からの要望が多い（総合計画より）
- ・ 若者は、暮らし・交通等が便利な都市への憧れ（総合計画より）
- ・ 公共交通に関する最新技術の導入状況や情報発信状況は、十分に整備されている訳ではない

上位計画や関連計画等からの示唆

第6次綾部市総合計画

総合的な課題

- ①市民の健康な暮らしを守る
- ②誰もが活躍できる雇用の確保
- ③人口減少社会への対応と暮らしの安全・安心の確保
- ④次代を担う子どもの育成
- ⑤市の魅力向上と効果的な情報発信

将来都市像

将来都市像実現に向けたキーワード

5つのキーワードを念頭に公共交通計画を検討する

- 医
- 職
- 住
- 教育
- 情報発信

綾部市都市計画マスタープラン／綾部市立地適正化計画

各拠点が地域特性に応じたまちづくりによって輝き、それぞれの拠点を交通ネットワークでつなぐ

コンパクトアンドネットワークによる都市構造を目指す

課題解決のための誘導方針

- ①快適で住みよいまちづくり
- ②子育て世代に選ばれるまちづくり

綾部市の公共交通計画の大前提としては

利便性を高めることで、住んでよかったと思われるまちづくりに寄与する

そのために公共交通分野が目指すことは

公共交通サービスを安定的持続的に提供する／誰もが利用しやすい公共交通サービスを提供する

以上を踏まえ、それぞれの交通手段において、次の3つの視点にそって検討を進める

見直

発展

維持

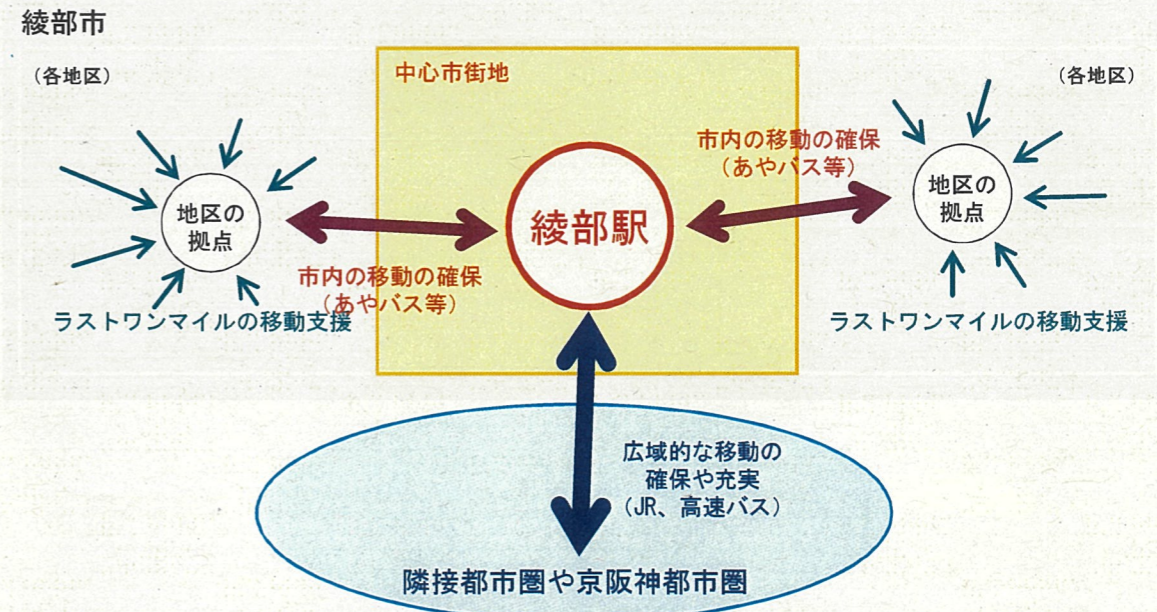
本計画での公共交通の方向性

本計画での方向性（各公共交通手段の課題解決に向けた方向性）

市内の移動 隣接市の移動	路線バス	維持	現在のサービスレベル維持に向けた働きかけ・利用促進
	あやバス	見直 維持	安定的な運行の確保、まちづくりと連携した利便性の向上
	空白地有償運送 (於与岐)	維持	安定的な運行の確保に向けて、必要な支援の継続実施 (サービス内容の見直しは事業者が主体となり実施する)
	福祉有償運送 (フロンティア)	維持	安定的な運行の確保に向けて、必要な支援の継続実施 (サービス内容の見直しは事業者が主体となり実施する)
	タクシー	維持 発展	営業所の維持やタクシー車両の存続に向けた支援
広域的な移動 (京阪神都市圏等との交流)	JR	維持	現在のサービスレベル維持に向けた働きかけ・利用促進
	新たな手段	発展	京都市・大阪市方面への高速バスの運行 (都会への手段選択の充実)
公共交通空白地 外出困難者の多い地区	新たな手段	発展	東部等でのラストワンマイル対策 (自宅前から最寄りの交通拠点までの移動手段の確保) (DX等の先進技術の活用)

公共交通ネットワークのイメージ図

～コンパクトアンドネットワークによるまちづくりとの連携～  
中心市街地と各地区を結ぶ交通ネットワークは主にあやバスが担う。  
地区内の拠点までの移動はラストワンマイル用の移動支援を導入する。



計画区域

綾部市全域

対象とする交通

市内を運行する全ての地域公共交通

計画期間

おおよそ10年後の将来を見据えつつ、令和5年度から9年度までの5年間の計画